

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【公開番号】特開2012-69513(P2012-69513A)

【公開日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-014

【出願番号】特願2011-179018(P2011-179018)

【国際特許分類】

H 0 1 M 10/0567 (2010.01)

H 0 1 M 10/0569 (2010.01)

H 0 1 M 10/0585 (2010.01)

H 0 1 M 10/0568 (2010.01)

H 0 1 M 4/13 (2010.01)

【F I】

H 0 1 M 10/00 1 1 2

H 0 1 M 10/00 1 1 4

H 0 1 M 10/00 1 1 7

H 0 1 M 10/00 1 1 3

H 0 1 M 4/02 1 0 1

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年9月29日(2014.9.29)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 6】

図3はどのようにして電解液4が電気化学セル2a, 2bに挿入されるかを表している。電気化学セル2a, 2bは、針などの注入装置8を使う上部側6以外の全ての部分が閉じているポーチ5にパックできる。図3はバイセル型の3組の電気化学セル2bを示しており、接点12, 22は図を明瞭にするために省略されている。注入装置8は所定量の電解液4を電気化学セル2a, 2bに挿入することができる。ポーチ5にパックされた電気化学セル2a, 2bへの電解液4の注入は、例えば圧力約10から500 mbar absの真空下で行える。電解液4は片側のみから注入してもよく、実質的に注入手順が簡略化される。